※令和４年度以降入学生用

学校番号	314

令和８年度　芸術科（音楽）

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	MOUSA２（教育芸術社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

演奏分野では、歌唱（独唱、合唱など）、器楽（ギター、リコーダー、ピアノ、和楽器など）を学び、様々なジャンルの曲に取り組みます。音楽を生涯にわたり楽しめるようさらに技能を磨きましょう。
創作の分野では、自分たちで作った、またはアレンジした作品を発表し、作品についてお互いに意見交換する機会を設けます。
鑑賞の分野では、音楽の構造や文化的・歴史的背景などについても学び、音楽作品についての意見交換・意見発表も行います。音楽を通して個性豊かに表現する力を身に付けましょう。

2　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成する。

1　曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
2　個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。
3　主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	曲想と音楽の構造や、文化的・歴史的背景との関わり、発声や楽器の音色・奏法との関わり、様々な表現形態による音楽表現の特徴について理解を深めている。 音素材、音階や音型、音の重なりなどの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解を深めている。 個性豊かで創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽表現するか、独自の表現意図をもっている。	主体的・協働的に音楽表現や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	曲想を感じ取って歌おう	①さまざまな歌唱に挑戦(糸 Alleluja、誰かがちいさなベルをおす　など)	a:曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。また、創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけ、歌唱で表している。 b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて独自の表現意図をもっている。 c:曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	聴取(実技テスト) ワークシート	聴取(実技テスト) ワークシート 意見発表	観察 ワークシート
	リズムアンサンブルをしよう	①ソルフェージュ ②PreludeⅢ など	a:曲想とボディパーカッションの音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 創意工夫を生かしたリズム演奏表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、ボディパーカッションで表している。 b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて独自の表現意図をもっている。 c:曲想と音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果や、他者との調和を意識して演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている	聴取(実技テスト・発表) ワークシート	聴取(実技テスト・発表) ワークシート 意見発表	観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	ギターを演奏しよう	①練習曲 ②愛のロマンス など	a:曲想とギターの音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。また、創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。 b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて独自の表現意図をもっている。 c:曲想とギターの音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果に関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	聴取(実技テスト) ワークシート	聴取(実技テスト) ワークシート	観察 ワークシート
2	ミュージカル・ナンバーを歌おう	①The Phantom of the Opera ②All I Ask of You など	a:曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて独自の表現意図をもっている。 c:曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	聴取(実技テスト) ワークシート	聴取(実技テスト) ワークシート 意見発表	観察 ワークシート
	ミュージカルを観賞しよう	ミュージカル《オペラ座の怪人》 など	a:音楽の特徴と文化的・歴史的背景, 他の芸術との関わりについて理解を深めている。 b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。 c:音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート	ワークシート 意見発表	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	日本の伝統音楽の楽しみ	①お箏を演奏しよう （〈一段〉 など） ②長唄を鑑賞しよう （《越後獅子》から など） ③三線を演奏しよう （安里屋ユンタ など）	a:曲想と和楽器の音色や奏法・日本の伝統音楽における発声との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりや様々な表現形態による音楽表現の特徴について理解している。また、創意工夫を生かした演奏表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法や発声、身体の使い方などの技能を身に付け、表している。 b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どう表現するかについて独自の表現意図をもっている。また、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。 c:曲想と和楽器の音色や奏法・日本の伝統音楽における発声との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりや様々な表現形態による音楽表現の特徴に関心をもち、主体的・協働的に演奏表現の学習活動に取り組もうとしている。また、日本の伝統音楽の特徴に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	聴取（実技テスト） ワークシート	聴取（実技テスト） ワークシート 意見発表	観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

3	重唱・合唱をしよう	①夏は来ぬ ②上を向いて歩こう など	a:曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他者との調和を意識して歌う技能、及び重唱や合唱などの表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて独自の表現意図をもっている。 c:曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果や、重唱や合唱などの表現形態の特徴や各パートの役割に関心をもち、主体的・協働的に歌の学習活動に取り組もうとしている。	聴取(実技テスト) ワークシート	聴取(実技テスト) ワークシート 意見発表	観察 ワークシート
	グループでアンサンブルをしよう	グループでのアンサンブル発表 など	a:曲想と楽器の音色や奏法・声種や発声法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。また、創意工夫を生かした器楽・歌唱表現をするために必要な奏法、身体の使い方や、他者との調和を意識して演奏する技能、アンサンブルの表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け、様々な演奏形態で表している。 b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どう演奏するか独自の表現意図をもっている。 c:曲想と楽器の音色や奏法・声種や発声法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果、他者との調和や表現形態の特徴を生かして演奏すること、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について関心をもち、主体的・協働的にアンサンブルの学習活動に取り組もうとしている。	聴取(発表) ワークシート	聴取(発表) ワークシート 意見発表	観察 ワークシート

曲目や内容は生徒の実態や社会状況に合わせて変更する場合があります。

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度